

三田市制施行 60 周年記念事業推進協議会の設置について

【 市長記者会見資料 】
平成 29 年 9 月 20 日
地域戦略室政策課 (田中)
直通:559-5038 内線:2210

三田市市制施行 60 周年事業検討委員会

【構成】 産業界、マスコミ、市民、学生など 13 人

【任期】 ~ (H29) 10/31

【会議】 ①5/10 ②7/4 ③9/19

現行

・基本理念の選定

- ①市民総がかりで全市を挙げて祝祭感を創出する
- ②明治維新 150 年を機とした歴史・文化を振り返る。
- ③まちを理解し、誇りと愛着を深める機会とする。
- ④新たな未来に向かって飛躍・発展する契機とする。
- ⑤三田の魅力を広く情報発信し、次代へ継承する。

・コンセプトの選定

【基本コンセプト】「**三田らしさ・自分らしさを礎に、未来に向けて共に新しい風を起こしませんか**」

【個別コンセプト】「**つたえる**」、「**つなげる**」、「**はぐくむ**」

・キャッチコピーの選定

「**新しい風、三田と共に**」

・提言書骨子 (案) の確認

【事業期間】 プレイベント : (H29) 8/1 ~ (H30) 3/31

記念事業 : (H30) 4/1 ~ (H31) 3/31

【事業構成】 記念式典

記念事業 (主催事業・連携事業)

・シンボルマークの選定 公募 (~9/5)

9/19

・提言書のとりまとめ (別添参照)

・今後の実施体制協議

三田市制施行 60 周年記念事業推進協議会

今後

【構成】 三田青年会議所、報道機関、
三田市商工会、三田市観光協会、
三田市国際交流協会、三田市区・自治会連合会、
三田市社会福祉協議会、三田市文化協会、
兵庫六甲農業協同組合、関西学院大学、
湊川短期大学、三田市

【役員】 市長 : 会長

【任期】 委嘱日 ~ (H31) 3/31

【役割】 ①記念式典の企画
②記念事業の広報
③実施計画の承認 など

【事務局】 地域戦略室政策課内 (事務局長 : 地域戦略室長)

「三田市制施行 60 周年記念事業 基本方針・コンセプト」、

「三田市制施行 60 周年記念事業実施スケジュール」 別紙参照



三田市制施行 60 周年記念事業 基本方針・コンセプト

三田市は、
今、こんなまち

- ・豊かな自然環境や特産物に恵まれ、城下町を核とした歴史・文化が内在するまち
- ・魅力や特徴が知られていないまち
- ・人口増加率 10 年連続日本一という著しい成長を経て、成熟を目指すまち

60 周年事業

《基本コンセプト》

『三田らしさ・自分らしさを ^{いしづえ} 礎に、
未来に向けて共に新しい風を起こしませんか』

ポスト 60 年の三田に向けた大きな節目の年を市民総がかりで祝い、飛躍・発展する契機とするとともに、三田の魅力を広く情報発信し、次代へつなげることで、まちへの誇りや未来への夢を育む画期とする。

将来、なりたいまち（目指す都市像）

- ・伝統を活かし、“進取の精神、未来志向が息づく成熟したコミュニティが育つまち”
- ・魅力や特徴を活かし、“三田ブランドが際立つまち”
- ・“世代を超えて夢を育む学びの都（まち）”

《周年事業の体系（個別コンセプト）》

『つたえる』

- ・先人たちが築き上げた豊かな自然や歴史・文化等を振り返り、まちへの誇りと愛着を深め、その思いを未来へ継承する事業
- ・本市の良さを再発見又は創造し、三田の魅力を国内外に広く発信、アピールし、知名度を高める事業

《キーワード》「城下町三田」、「偉人の輩出」、「進取の気性」、「未来志向」、「チャレンジ精神」、「まちへの誇り」、「明治維新 150 年」、「兵庫県政 150 年」、「学びの都（まち）」、「美食のまち」、「自然あふれる憩いの郷」、「（明日の）風」、「成熟（成長と違う新しい時代）」、「生まれ・育ち・暮らす地域」

《キャッチコピー》 《シンボルマーク》

『新しい風、三田と共に』



『つなげる』

市民をはじめ様々な主体が連携し、地域間・世代間などの交流の輪を広め、人と人の絆を強める事業

《キーワード》「市民総がかり」、「連携」、「交流」、「人と人の絆」、「未来への責任感」、「協働」、「コミュニティ」

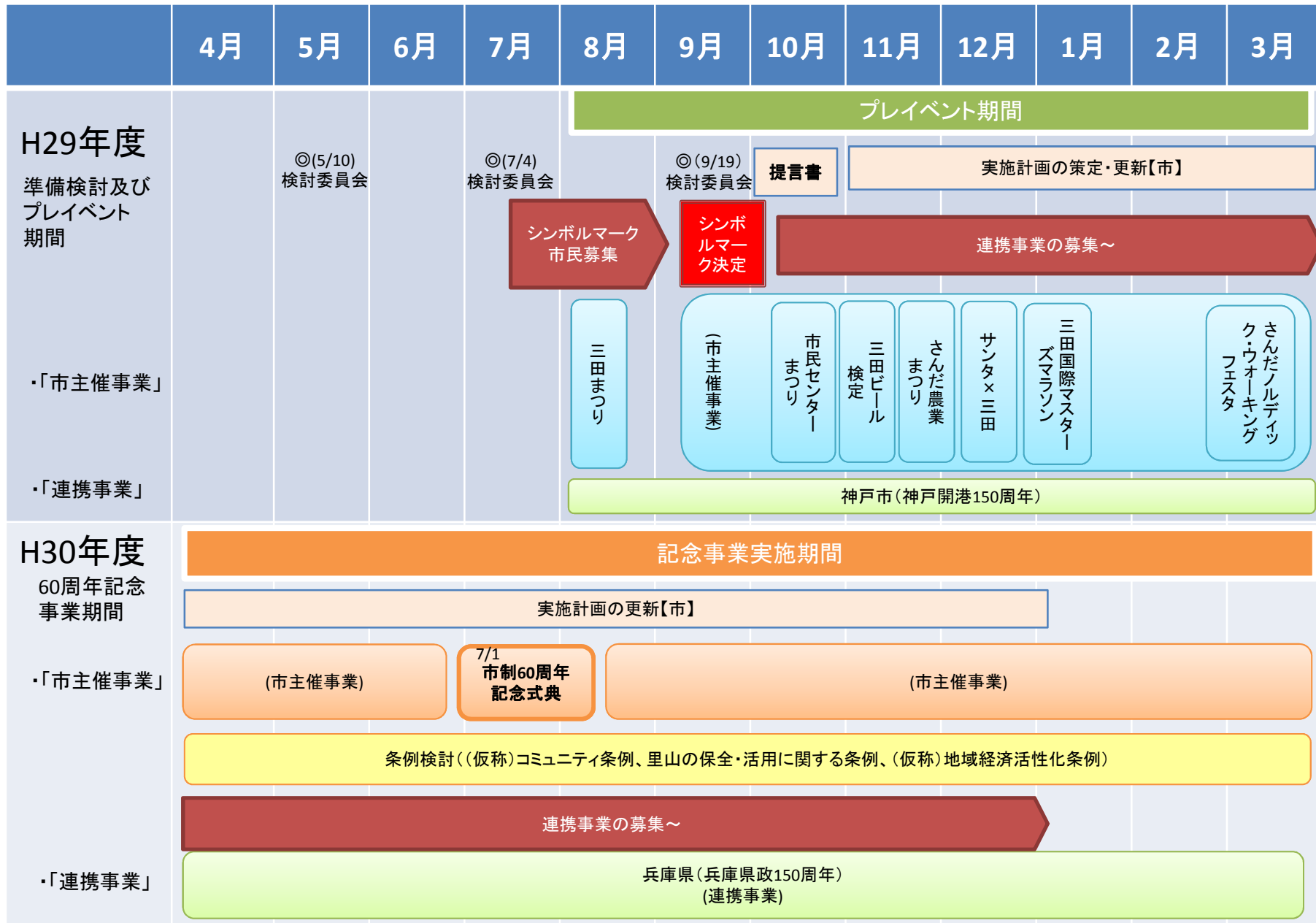
『はぐくむ』

次世代を担う子どもたちの夢や希望を育む事業

《キーワード》「夢」、「希望」、「勇気」、「自信」

個別コンセプトに応じた記念事業を展開
(実施計画に反映)

三田市制施行60周年記念事業実施スケジュール



**三田市制施行60周年記念事業
提言書**

三田市市制施行60周年事業検討委員会

平成29年9月

1 三田市制施行 60 周年の意義

昭和 33 年（1958 年）7 月 1 日に人口 3 万 2,673 人のまちとして誕生した三田市は、平成 30 年（2018 年）7 月 1 日に市制施行 60 周年を迎えます。

昭和 48 年（1973 年）からの北摂三田ニュータウン開発に伴い、昭和 62 年から平成 8 年までの 10 年間は人口増加率連続日本一を記録したほか、平成 11 年には人口が 11 万人に達するなど、新興住宅・既成市街地・農村といったそれぞれの地域特性に応じた調和のとれたまちを目指しつつ、急増する人口とともに著しく成長しました。

こうした「成長期」の市制 30 周年や市制 40 周年からそれぞれ 30 年・20 年が経過した今、少子・高齢化、人口減少社会の到来を迎え、成熟した市民社会との協働による「成熟のまちづくり」への転換が必要となっています。

60 年を意味する「還暦」には、干支が生まれ年に戻る、つまり「第二の誕生」という意味が込められています。その意味で、「成長から成熟へ」の本格的な転換のスタートにふさわしい節目の年として位置付け、三田市制施行 60 周年記念事業を実施します。

2 基本理念

三田市制施行 60 周年という大きな節目の年を、市民総がかりで祝い、飛躍・発展する契機とするとともに、三田の魅力を広く情報発信し、次代へ継承することで、まちを理解し、誇りと愛着を深め、未来への夢を育む機会とします。

◆基本コンセプト

『三田らしさ・自分らしさを いしずえ 礎に、未来に向けて共に新しい風を起こしませんか』

3 基本方針

基本理念を踏まえ、次の基本方針に基づいて三田市制施行 60 周年記念事業を実施します。

(1) 『つたえる』

先人たちが築き上げた豊かな自然や歴史・文化等を振り返り、まちへの誇りと愛着を深め、その思いを未来へ継承します。

本市の良さを再発見又は創造し、三田の魅力を国内外に広く発信、アピールし、知名度を高めます。

(2) 『つなげる』

市民をはじめ様々な主体が連携し、地域間・世代間などの交流の輪を広め、人と人との絆を強めます。

(3) 『はぐくむ』

次世代を担う子どもたちの夢や希望を育みます。

4 事業期間

三田市制施行 60 周年を迎える平成 30 年度の 1 年間を事業期間とします。また、平成 29

年度はプレイベント期間としてシンボルマークの募集を含め事業を実施し、広く市民の祝賀の機運を高めていきます。

◆市制施行 60 周年プレイベント期間	平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
◆市制施行 60 周年記念事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

5 事業構成

記念式典と記念事業により構成するものとします。

(1) 記念式典

平成 30 年 7 月 1 日の市制記念日に、三田市制施行 60 周年記念事業の大きな節目を祝う事業として挙行し、市政へ貢献された方々への顕彰や祝賀イベント等を実施します。

(2) 記念事業

市の「主催事業」と、関係自治体、市民団体や地域、企業等が実施し、市が共催・後援等の支援を行う「連携事業」とに分けて実施します。

ア 主催事業

市が主催する事業に加え、三田市制施行 60 周年を契機として、第 4 次三田市総合計画後期基本計画に定める「(仮称) コミュニティ条例」など、成熟したまちづくりに係る条例の検討を進めます。

イ 連携事業

関係自治体、市民団体や地域、企業等が実施する様々な事業に対し、「三田市制施行 60 周年記念事業」の冠付けや事業の共催・後援等を通じた支援を行い、三田市制施行 60 周年を盛り上げる事業を実施します。

6 実施体制

三田市制施行 60 周年記念事業は、市民総がかりで祝い、飛躍・発展する契機としていることから、事業実施に当たっては、多くの市民・団体等が参画し、事業の企画や取組内容を周知できるよう、市全体体制で推進を図るものとします。

「三田市制施行 60 周年記念事業推進協議会」

三田市制施行 60 周年記念事業を実施するに当たり、様々な主体の参加による「三田市制施行 60 周年記念事業推進協議会」を設置します。

7 広報・PR

広報やPRを積極的に行い、三田市制施行 60 周年記念事業を広く周知し、事業参加への機運を高め、シティセールスに繋がめます。

(1) キャッチコピー・シンボルマーク

三田市制施行 60 周年記念にふさわしいキャッチコピーやシンボルマークを作成し、広報等の印刷物や啓発物に掲載することで、広く事業の認知度を高めます。



(2) 各種PRツール

ポスター・チラシ等の印刷物や各種媒体を使った積極的な情報発信を行います。

【参考】

三田市市制施行60周年事業検討委員会委員名簿

(50音順・敬称略・◎座長)

後藤 一 義	キリンビール株式会社神戸工場 工場長
清水 孝	テクノパーク企業協議会 副会長
田辺 眞 人	園田学園女子大学名誉教授
塘田 捷 人	関西学院大学総合政策学部総合政策学科
中田 英 一	三田青年会議所ブロック大会準備委員会副委員長
林 秀 子	市民委員
平井 治	市民委員
前島 紳 作	神戸新聞社北摂総局 総局長
松原 正 武	三田市商工会 会長
村上 元 伸	兵庫県阪神北県民局長
◎森 哲 男	三田市長
諸 富 稜	関西学院大学総合政策学部都市政策学科
吉田 謙 信	三菱電機株式会社三田製作所 総務部長